

副作用でeラーニング

徳島文理大香川薬学部

秋期講座の受講生を募集

現職・離退職薬剤師を対象に、文部科学省委託事業として徳島文理大学香川薬学部が今春に開講した、eラーニング型の講座「副作用診断教育プログラム」が、秋の受講生を募集している。副作用に焦点を当て、重篤な副作用疾患や副

作用症例などを総合的に学ぶことで、患者の訴えや症状から副作用を早期に見出す能力や、副作用について患者に十分説明できる能力が養える。

秋期講座は、10月26日から開始。好きな時間に、自宅などで学習できるeラー

ニング型の講座として、来年1月25日までに5回の講義が行われる。各講義の終了後には、演習トレーニングが設けられており、自身の到達度を確認できる。全講義終了後には確認試験が実施される。

各講義のテーマは、▽副作用・感染症報告制度、医薬品副作用被害救済制度など▽無顆粒球症▽消化性潰瘍▽アナフィラキシー▽消化器症状からみる副作用症例…偽膜性大腸炎、消化性

潰瘍、麻痺性イレウス—
となっている

秋期講座の受講料は1000円。申し込みは、専用のWebサイト(<https://kp.manabinaoshi.jp/>)で10月2日まで受け付けている。確認試験全問正解者(反復解答可)には、修了証書と日本薬剤師研修センター受講シールが交付される。

このプログラムは今年度と同様、来年度の春と秋にも開かれる。

薬事日報

2009(平成21)年9月7日 月曜日